

経営比較分析表（令和元年度決算）

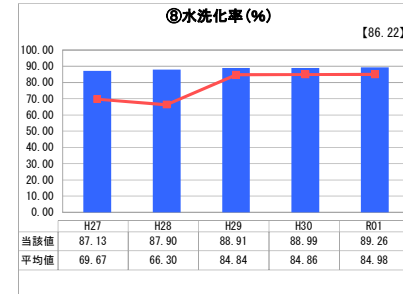
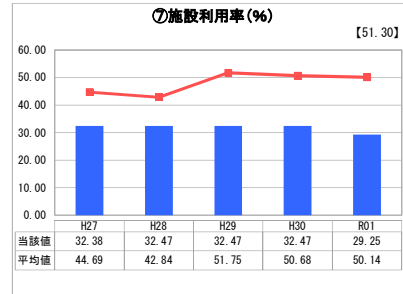
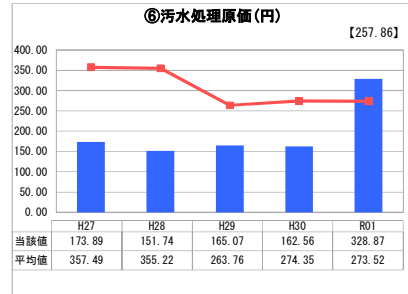
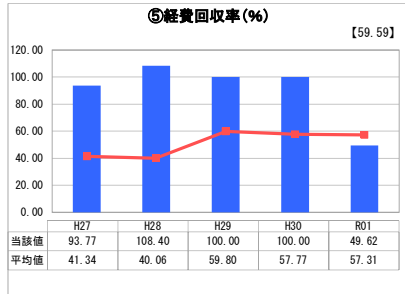
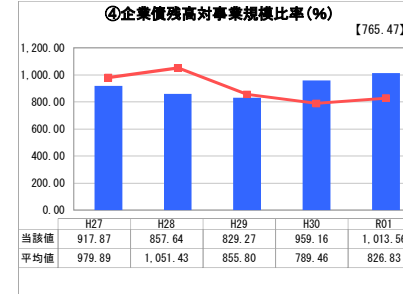
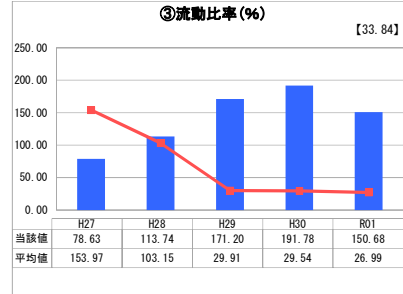
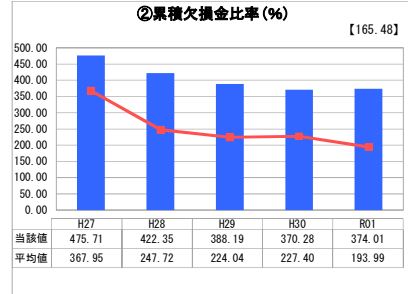
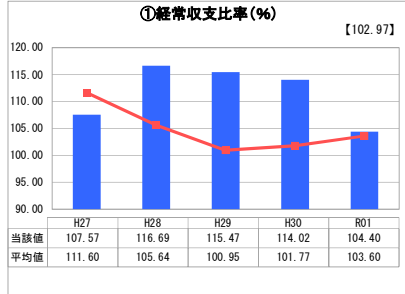
福岡県 岡垣町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.47	4.21	100.00	3,150

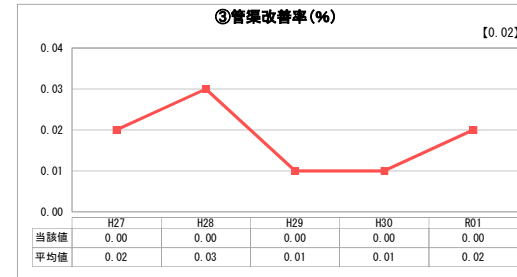
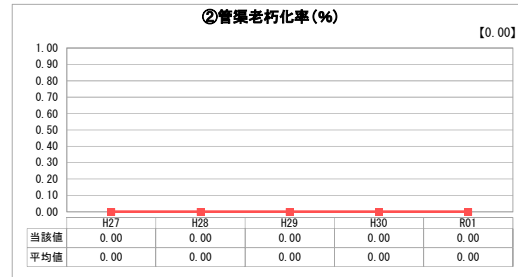
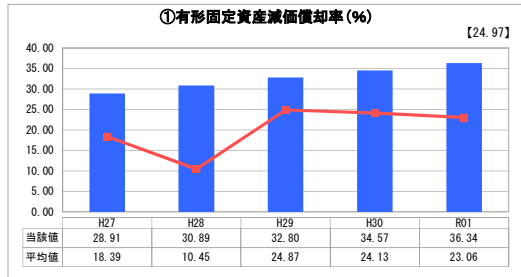
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,706	48.64	651.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,332	0.59	2,257.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成17年4月に地方公営企業法を適用し、事業経営の健全化と経営基盤の強化を図った。平成18年4月に事務事業の効率性と職員の削減による人件費の軽減を図るため、水道課と下水道課の組織の統合を行った。平成22年4月に経営基盤の強化を図るため、下水道使用料を改定し、収益の確保を行った。平成25年度から当年度純利益が発生し、累積欠損金の解消に努めたが、類似団体と比較して累積欠損金比率は高い水準で推移している。令和元年度をもって公共下水道事業に統合され、累積欠損金は解消された。今後も長期的な財政計画に基づいて、経費の節減に努める予定である。

2. 老朽化の状況について

平成8年度からの事業着手のため、経年劣化した管はない。しかし、硫化水素により劣化したマンホールがあるため、今後も計画的なマンホール更生を実施する。

全体総括

平成8年度に事業着手し、平成14年4月に供用開始後、建設事業は完了して維持管理へ移行している。一般会計からの繰入金により、累積欠損金は減少傾向にあるが、類似団体と比較しても累積欠損金比率は高い。令和元年度をもって公共下水道事業に統合され、累積欠損金は解消された。今後は公共下水道事業として、維持管理費用の削減を行い、経営状況の改善を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。